

NOW&FUTURE

各支社紹介

鳥居さんが出張で各支社を訪問し、現地でインタビューしてきてくださいました！今回の社内報では、そんな支社のリアルな様子をお届けします。

金沢支社

育休取得中メンバーの引き継ぎや給与計算など、継続的な対応を行う拠点です。在宅勤務と出社を組み合わせた働き方の中で、丁寧な引き継ぎと密な連携体制が整えられています。



浜松支社

主に給与計算・社会保険手続き業務を中心に、少人数体制で幅広い案件をカバーしている支社です。名古屋・大阪・東京など他拠点との連携も多く、柔軟な働き方が進んでいます。

大阪支社

関西圏のクライアントを多く抱える実行力の高い拠点です。スタッフとの連携や業務の効率化、専門性の強化を進めながら、少人数でも機動力ある運営を目指しています。



金沢支社



働き方の柔軟性

在宅と出社、その両方を活かす

金沢支社の大きな特徴のひとつは、リモートワークと出社を柔軟に組み合わせているところです。もともと在宅勤務が中心だったメンバーも、ここ1ヶ月ほどで支社へ出社するようになり、「やっぱり直接会うと安心します」と口をそろえていました。

日々の業務は個々で進めながらも、オンライン会議やチャットでこまめにやりとりし、必要があればすぐに声を掛け合える体制が整っています。「“ちょっと手伝ってください”って言える雰囲気があるのがありがたい」という言葉からも、チームの信頼関係が伝わってきました。



金沢支社の皆さんに聞きました

Q. 支社の雰囲気をひとことで表すと？

A. 少人数だからこそ“安心感”があります。

何かあれば自然と声をかけ合える関係性ができます。

Q. 金沢支社ならではの工夫や特徴はありますか？

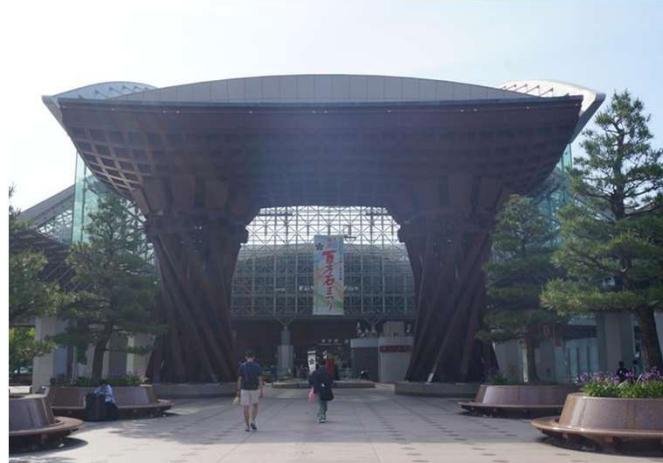
A. 出社と在宅を状況に応じて柔軟に組み合わせていて、

顔を合わせて話せる安心感も大切にしています。

Q. 今、力を入れている業務や取り組みは？

A. 引き継ぎ業務をしながら、体制づくりや業務の

見える化にも取り組んでいます。



これからの金沢支社

変化を前向きにとらえ、より良い体制へ

少人数だからこそ、一人ひとりの工夫が支社全体の働きやすさに直結する金沢支社。まだ慣れない業務や新しいメンバーとの体制づくりに取り組むなか、「もっとスキルアップできる環境にしたい」「業務の流れを整理して見える化したい」といった声も聞かれました。引き継ぎや環境整備、業務の見直しを重ねながら、より安定した運営体制の実現に向けて取り組んでいきます。

浜松支社



浜松支社の特徴

役割は違っても、目指す方向はひとつ

浜松支社では、社労士補助業務から労務相談、新しい提案まで、それぞれが異なる業務を担っています。担当業務は異なっていても、チーム全体で進む方向を意識しながら連携しているのが特徴です。「目的が同じだから話が通じやすい」「背景まで共有してくれるのがありがたい」といった声もあり、自然と助け合う姿勢が根づいています。互いの強みや経験を持ち寄りながら、支社としての対応力を高めているのも印象的です。お互いの業務内容や考え方への理解があることで、業務の境界を越えた協力がスムーズに生まれ、支社全体としての一体感が育まれています。



浜松支社の皆さんに聞きました

Q. 今、担当している業務内容を教えてください。

A. 就業規則の作成支援や評価制度づくりのサポートを担当しています。最近はクライアント対応にも少しずつ関わらせていただいている、とても勉強になっています。

Q. 浜松支社の働きやすさって、どんなところですか？

A. 干渉しそぎず、それでいて必要なときにはちゃんと気にかけてくれる、ちょうどいい距離感があるところです。「見張られている感じがない」と感じるので、自分のペースで集中できます。

Q. 今後チャレンジしてみたいことはありますか？

A. 労務知識をもっと深めて、クライアントに対して自信を持って提案できるようになりたいです。社内でも外部でも、安心して頼ってもらえる存在を目指したいと思っています。



みんなでつくる浜松支社のこれから

いまの声で、支社のかたちが変わっていく

浜松支社はまだ成長の途中。業務のやり方や分担は定まっておらず、日々のやりとりの中で少しずつ整えられてきました。「これ、やっておきました」「自分がやってみます」といった声が自然に交わされ、一人ひとりの動きがそのまま支社の運営に活かされています。

あるメンバーは「支社ができるがっていく過程に関われていることにやりがいを感じる」と話します。決まりきっていないからこそ意見が通りやすく、今の浜松支社はその柔軟さを活かしながら前に進んでいます。

大阪支社



働き方の柔軟性

実務から少しづつ、マネジメントへシフト中

大阪支社ではこれまで、担当者が実務を中心に業務を進めてきましたが、最近ではスタッフαとの役割分担を進め、進捗管理やチェック業務といったマネジメント寄りの動きへと少しづつシフトしています。

その変化を支えているのは、業務の中核を担うベテラン社員たちの存在です。日々の業務に加え、生成AIなどの新しいツールも柔軟に取り入れながら、効率的かつ正確な対応を追求し続ける姿勢が印象的です。

また、少人数体制という支社の特性もあって、メンバー同士の動きが見えやすく、意見交換や相談もしやすい雰囲気が根づいています。

それぞれの専門性と責任感を活かしながら、確実に進化していく大阪支社の取り組みは、静かに、しかし力強く前進しています。



大阪支社の皆さんに聞きました

Q. 支社の雰囲気をひとことで表すと？

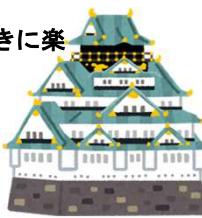
A. 少人数なので、お互いの状況を把握しやすく、静かで落ち着いた環境です。

Q. 今後の支社としてのビジョンは？

A. 有資格者を増やし、専門性を高めるニッチな支社を目指したいです

Q. 仕事の“面白い”瞬間は？

A. 生成AI導入でスピードが上がるのを実感したときに楽しさを感じます。



展望・これから

専門性で応える、信頼の現場

関西圏のクライアントを中心に対応する大阪支社。少数精鋭のチームは、お互いに状況を共有し合いながら、連携して業務を進めています。「ニッチな支社を目指したい」という声の通り、有資格者の強みや生成AIの活用を活かし、迅速かつ丁寧な対応を追求。信頼と誠実さを大切に、日々の現場を支えています。

また、業務効率化に向けたツール整備や進捗管理の工夫など、現場発信の改善も積極的。クライアントごとに異なる課題に柔軟に対応する姿勢が、支社全体の強みとなっています。